

「びわ湖の日」についてのアンケート結果

7月1日は「びわ湖の日」です。滋賀で暮らす人々の「びわ湖を守りたい」という思いから生まれた象徴的な日であり、県では、県内および県外(下流域)の皆様が「びわ湖の日」を知り、琵琶湖に思いを寄せ、琵琶湖と関わっていただくための取組を実施しています。

このアンケートは皆さまからの率直な御意見をいただき、「びわ湖の日」の今後の取組の参考にすることを目的に実施しました。

★調査時期:令和7年8月

★対象者:県政モニター300人

★回答数:251人/300人中(回収率83.7%)

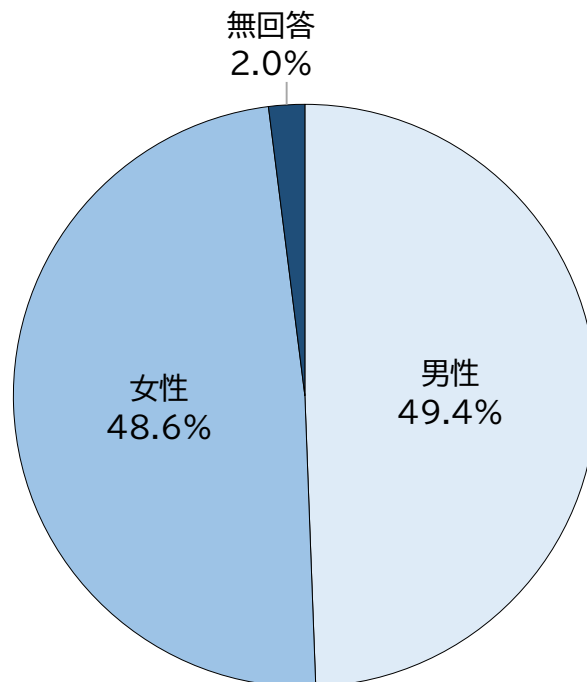
★担当課:琵琶湖環境部 環境政策課

(※四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります。)

【属性】

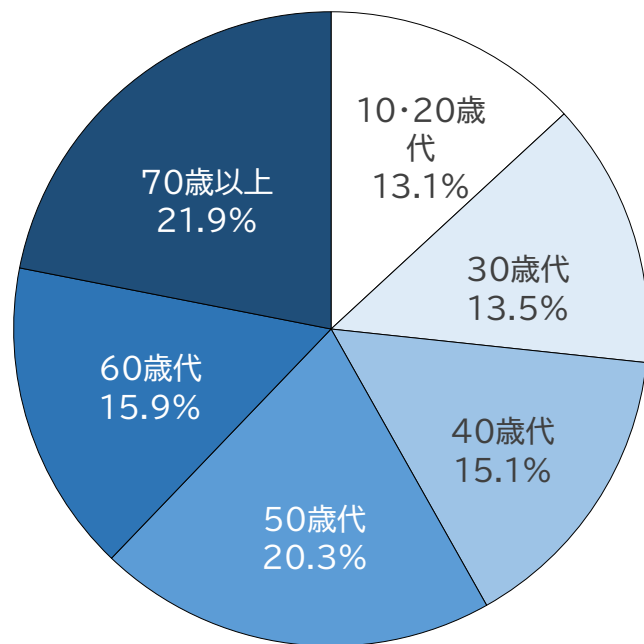
◆性別

項目	人数	割合
男性	124人	49.4%
女性	122人	48.6%
無回答	5人	2.0%
合計	251人	100.0%



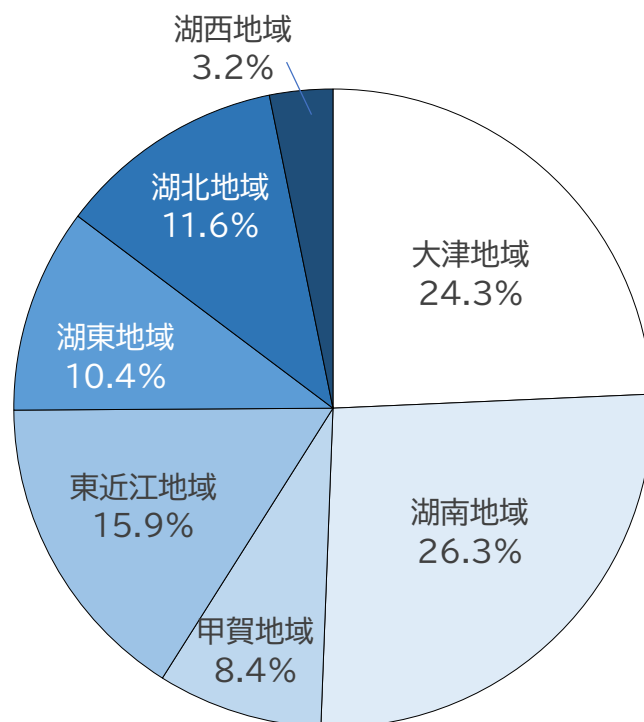
◆年代

項目	人数	割合
10・20歳代	33人	13.1%
30歳代	34人	13.5%
40歳代	38人	15.1%
50歳代	51人	20.3%
60歳代	40人	15.9%
70歳以上	55人	21.9%
合計	251人	100.0%



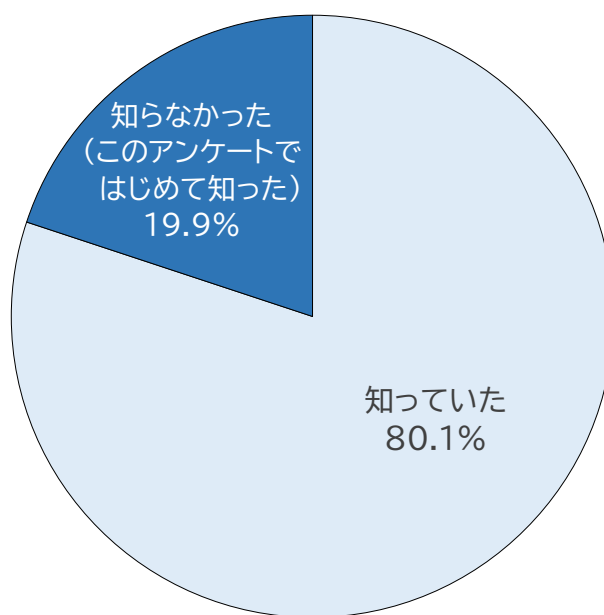
◆地域

項目	人数	割合
大津地域	61人	24.3%
湖南地域	66人	26.3%
甲賀地域	21人	8.4%
東近江地域	40人	15.9%
湖東地域	26人	10.4%
湖北地域	29人	11.6%
湖西地域	8人	3.2%
合計	251人	100.0%



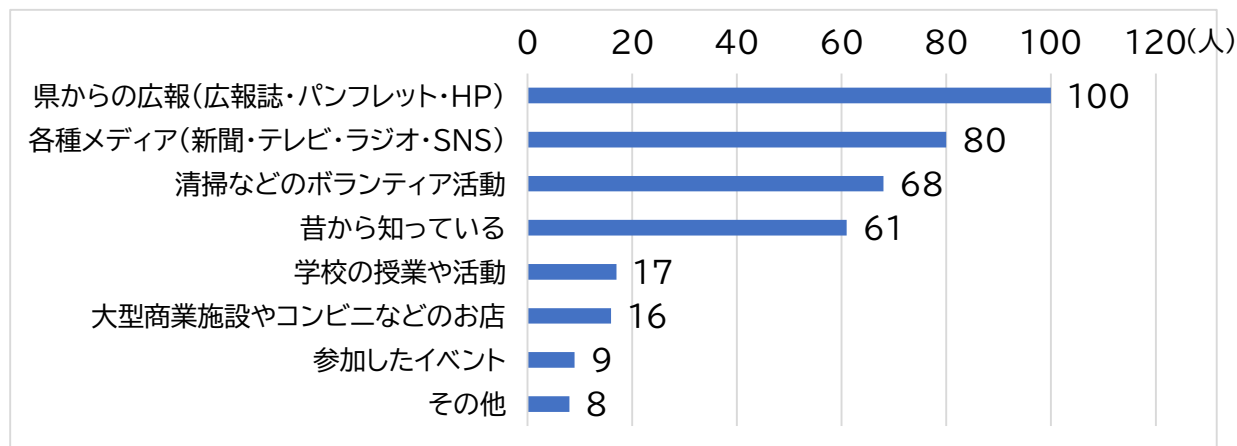
問1 7月1日が「びわ湖の日」であることを知っていましたか。(n=251)

項目	人数	割合
知っていた	201人	80.1%
知らなかった (このアンケートで はじめて知った)	50人	19.9%
合計	251人	100.0%



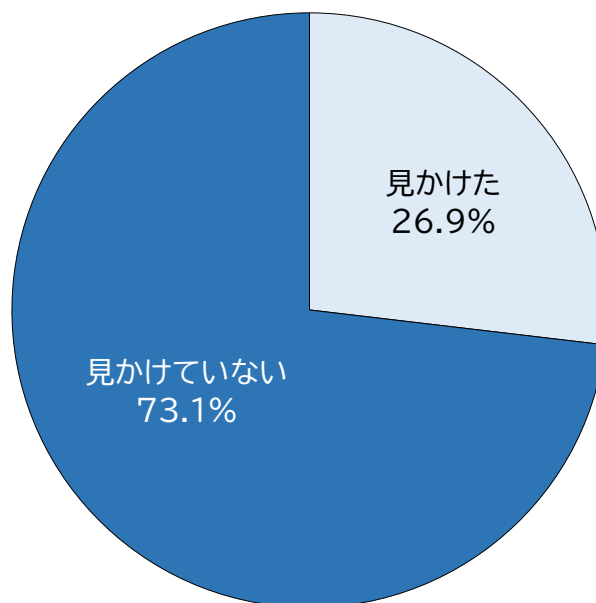
問2 問1で「知っていた」を選択された方におたずねします。「びわ湖の日」をどのようなきっかけで知りましたか。(回答チェックはいくつでも。n=201)

項目	人数	割合
県からの広報(広報誌・パンフレット・HP)	100	49.8%
各種メディア(新聞・テレビ・ラジオ・SNS)	80	39.8%
清掃などのボランティア活動	68	33.8%
昔から知っている	61	30.3%
学校の授業や活動	17	8.5%
大型商業施設やコンビニなどのお店	16	8.0%
参加したイベント	9	4.5%
その他	8	4.0%



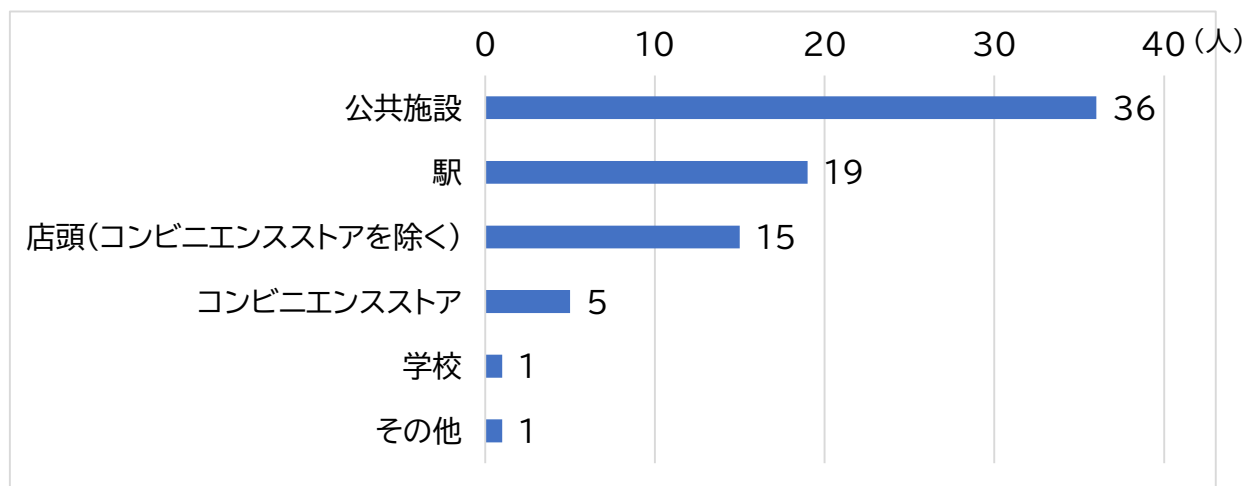
問3 問1で「知っていた」を選択された方におたずねします。今年度「7月1日びわ湖の日」のポスターを見かけましたか。(n=201)

項目	人数	割合
見かけた	54人	26.9%
見かけていない	147人	73.1%
合計	201人	100.0%



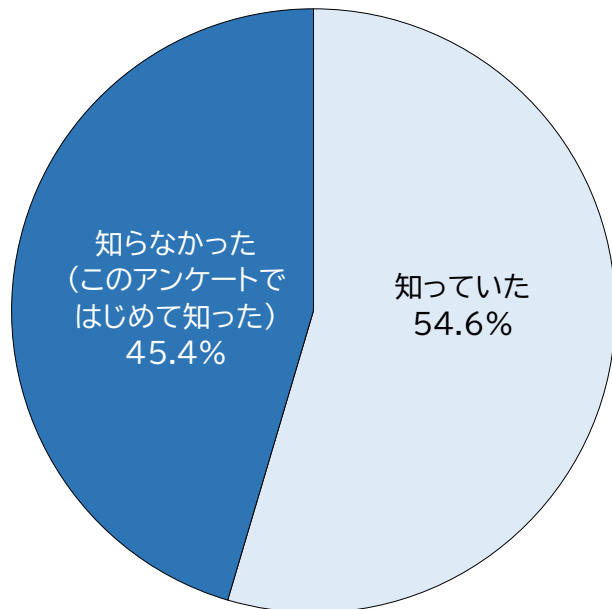
問4 問3で「見かけた」を選択された方におたずねします。どこで「7月1日びわ湖の日」のポスターを見かけましたか。(回答チェックはいくつでも。n=54)

項目	人数	割合
公共施設	36	66.7%
駅	19	35.2%
店頭(コンビニエンスストアを除く)	15	27.8%
コンビニエンスストア	5	9.3%
学校	1	1.9%
その他	1	1.9%



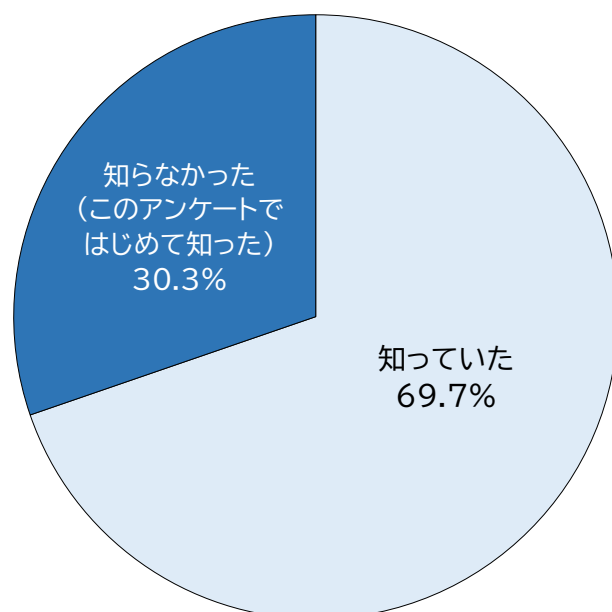
問5 「びわ湖の日」は、「滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」(1977年に琵琶湖で淡水赤潮が大規模に発生し、県民による石けん運動の盛り上がり等を背景に施行)が施行された日を記念して定められました。こうした背景を知っていましたか。(n=251)

項目	人数	割合
知っていた	137人	54.6%
知らなかった (このアンケートで はじめて知った)	114人	45.4%
合計	251人	100.0%



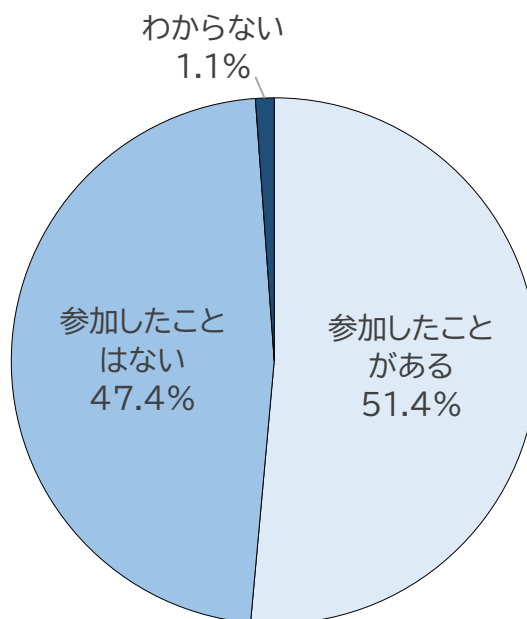
問6 「びわ湖の日」は「滋賀県環境基本条例」において、環境保全について理解と認識を深め、環境保全活動への参加意欲を高める日として定められています。これまで、「びわ湖の日」を中心に、県内一斉に清掃活動が行われてきたことを知っていましたか。(n=251)

項目	人数	割合
知っていた	175人	69.7%
知らなかった (このアンケートで はじめて知った)	76人	30.3%
合計	251人	100.0%



問7 問6で「知っていた」を選択された方におたずねします。これまで、「びわ湖の日」の一斉清掃活動(びわ湖をきれいにする運動)に参加したことがありますか。(n=175)

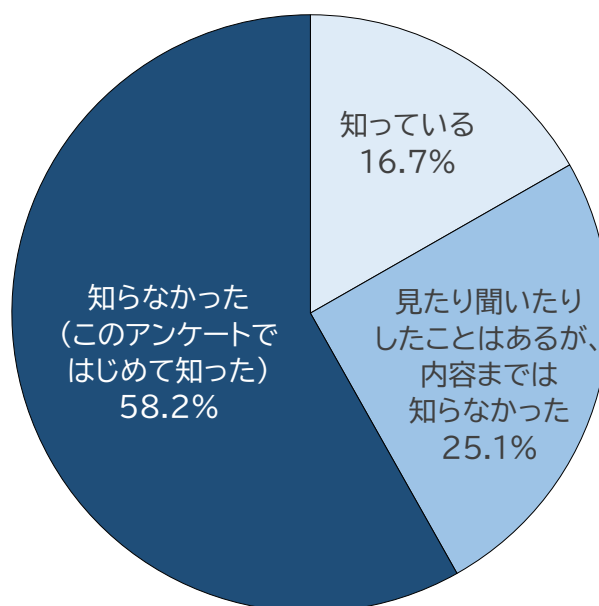
項目	人数	割合
参加したことがある	90人	51.4%
参加したことはない	83人	47.4%
わからない	2人	1.1%
合計	175人	100.0%



問8 「びわ活」(※)を知っていますか。(n=251)

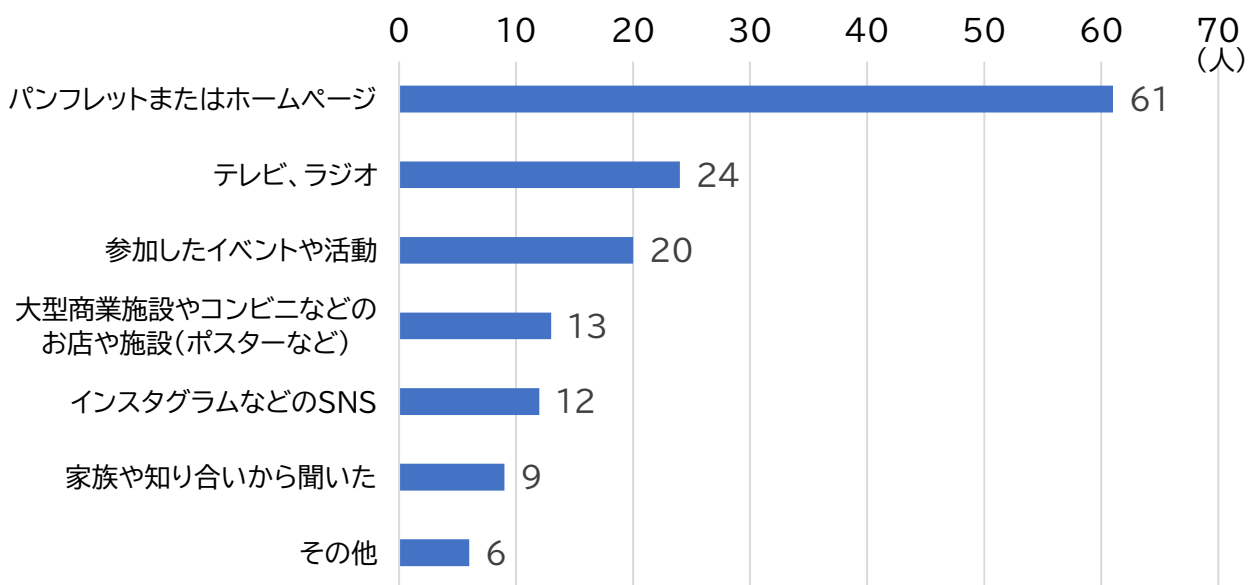
※「びわ活」とは、びわ湖の日(7月1日)から世界湖沼の日(8月27日)までを重点期間とした、琵琶湖を守る、琵琶湖と暮らす、琵琶湖と親しむ、といった琵琶湖と関わるさまざまな取組や活動をいいます。

項目	人数	割合
知っている	42人	16.7%
見たり聞いたりしたことはあるが、内容までは知らなかった	63人	25.1%
知らなかった(このアンケートではじめて知った)	146人	58.2%
合計	251人	100.0%



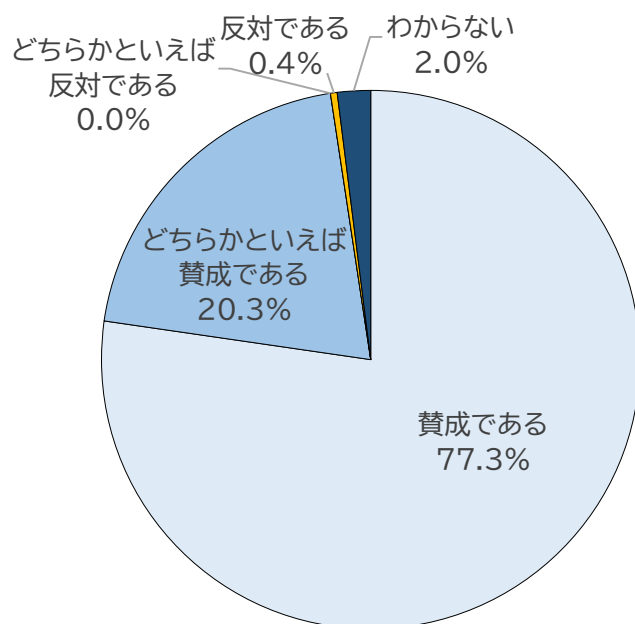
問9 問8で「知っている」「見たり聞いたりしたことはあるが、内容までは知らなかった」と回答された方におたずねします。「びわ活」をどのようなきっかけで知りましたか。(回答チェックはいくつでも。n=105)

項目	人数	割合
パンフレットまたはホームページ	61	58.1%
テレビ、ラジオ	24	22.9%
参加したイベントや活動	20	19.0%
大型商業施設やコンビニなどのお店や施設(ポスターなど)	13	12.4%
インスタグラムなどのSNS	12	11.4%
家族や知り合いから聞いた	9	8.6%
その他	6	5.7%



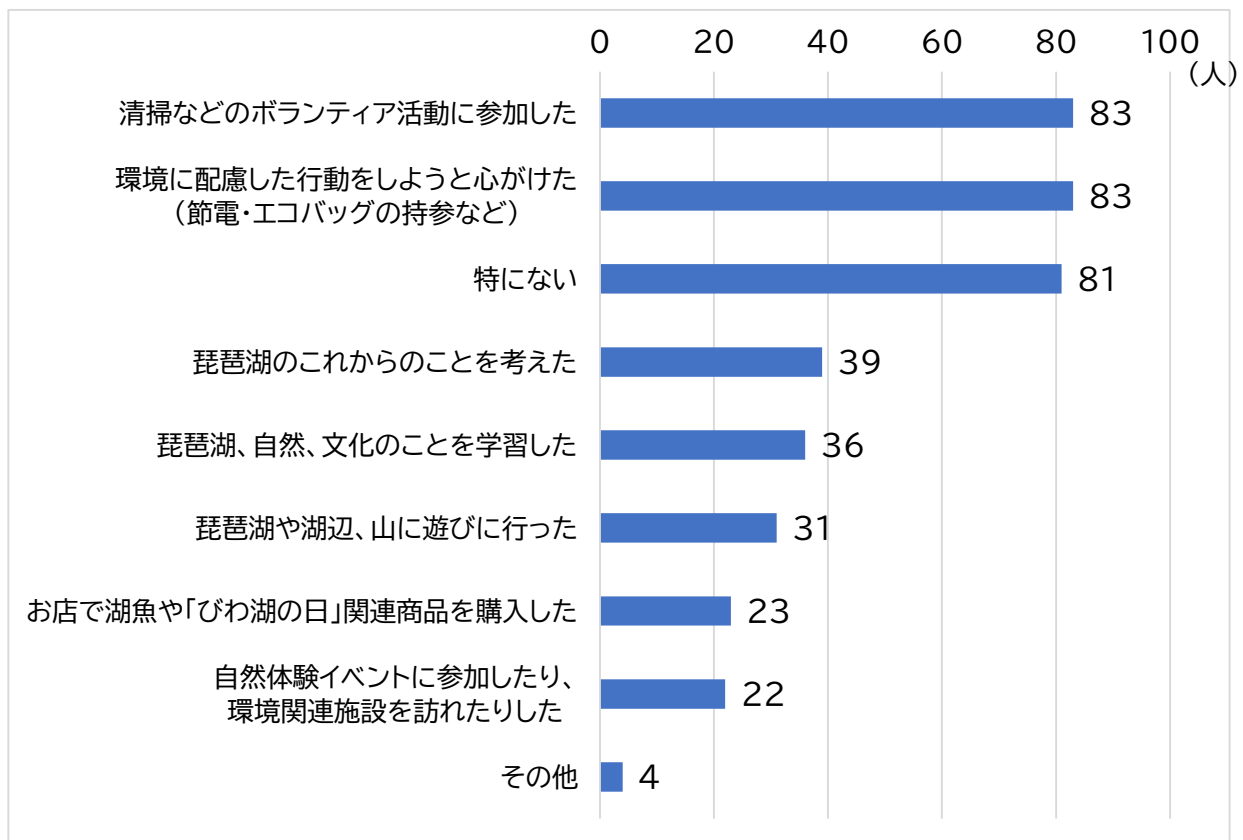
問10 「びわ活」では、森・川・里・湖・海のつながりを意識しながら、取組を進めています。「びわ活」を推進することについて、どのように思われますか。(n=251)

項目	人数	割合
賛成である	194人	77.3%
どちらかといえば賛成である	51人	20.3%
どちらかといえば反対である	0人	0.0%
反対である	1人	0.4%
わからない	5人	2.0%
合計	251人	100.0%



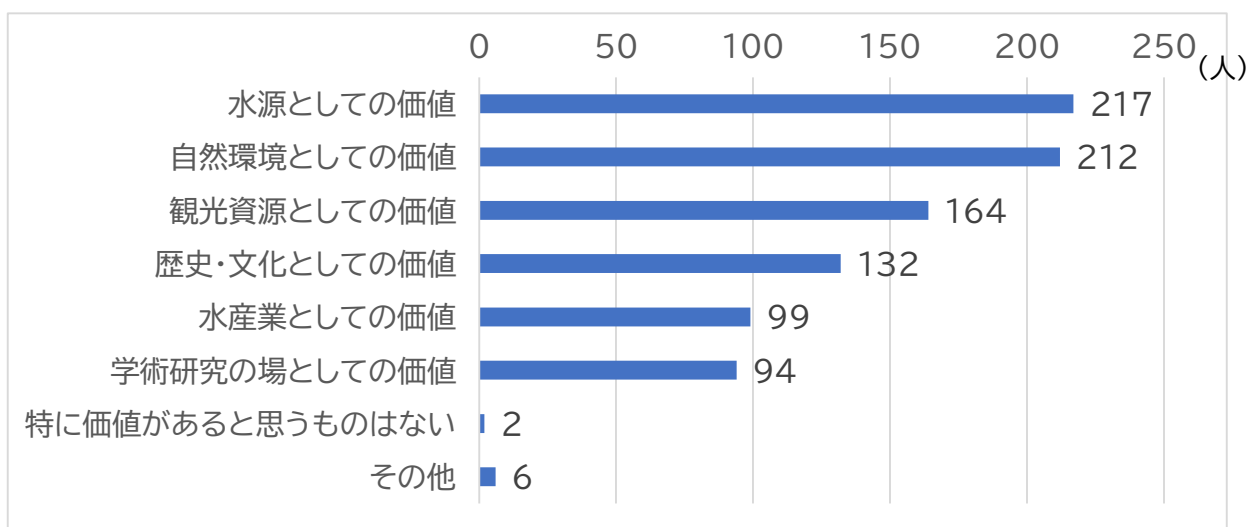
問11 今年、「びわ湖の日」や「びわ活」を意識して関わったことがあれば教えてください。（「特にな
い」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=251）

項目	人数	割合
清掃などのボランティア活動に参加した	83	33.1%
環境に配慮した行動をしようと心がけた （節電・エコバッグの持参など）	83	33.1%
特にない	81	32.3%
琵琶湖のこれからのことを考えた	39	15.5%
琵琶湖、自然、文化のことを学習した	36	14.3%
琵琶湖や湖辺、山に遊びに行った	31	12.4%
お店で湖魚や「びわ湖の日」関連商品を購入した	23	9.2%
自然体験イベントに参加したり、 環境関連施設を訪れたりした	22	8.8%
その他	4	1.6%



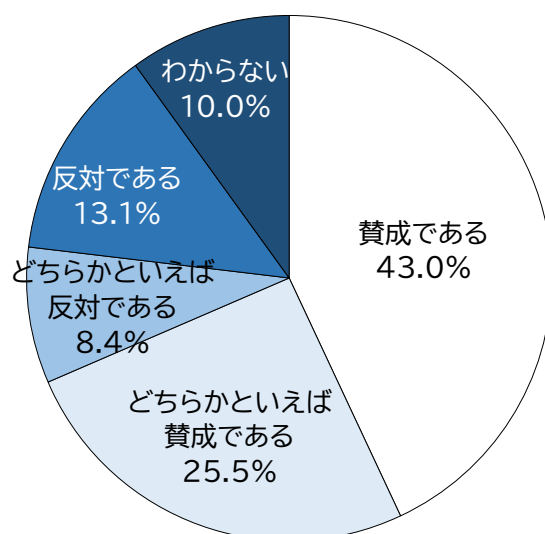
問12 琵琶湖には、自然環境や水源、学術研究など様々な価値があります。あなたが重要だと思う琵琶湖の価値とは何ですか。（「特に価値があると思うものはない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=251）

項目	人数	割合
水源としての価値	217	86.5%
自然環境としての価値	212	84.5%
観光資源としての価値	164	65.3%
歴史・文化としての価値	132	52.6%
水産業としての価値	99	39.4%
学術研究の場としての価値	94	37.5%
特に価値があると思うものはない	2	0.8%
その他	6	2.4%



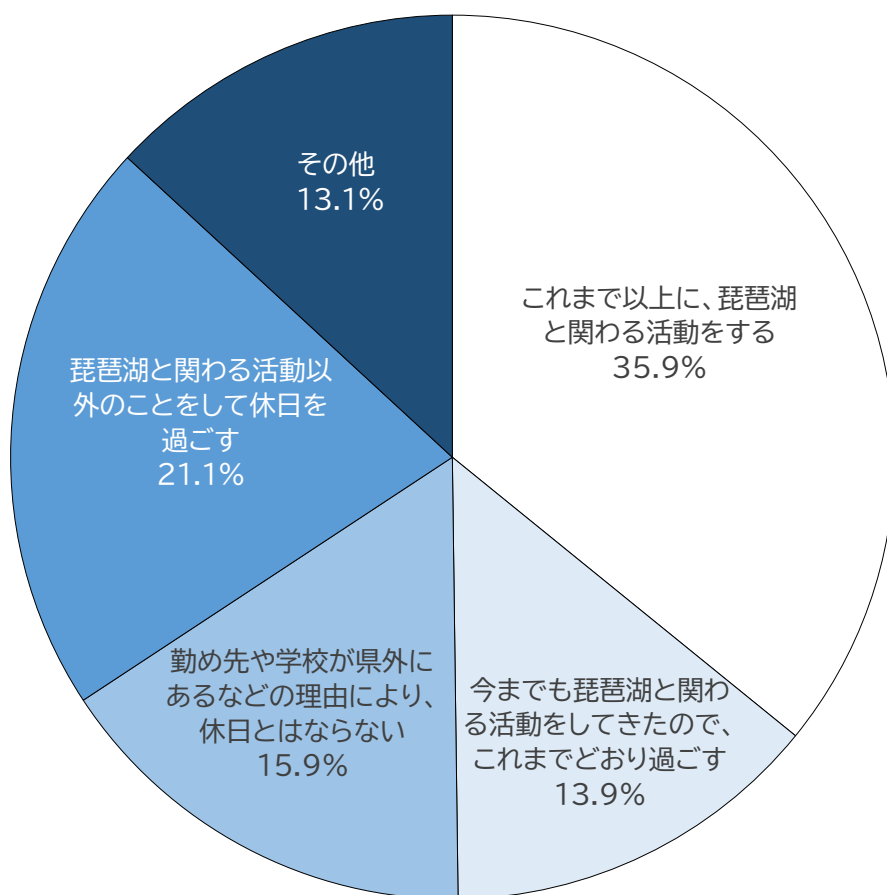
問13 7月1日「びわ湖の日」を県内において休日とすることについて、あなたはどのように思いますか。（n=251）

項目	人数	割合
賛成である	108人	43.0%
どちらかといえば賛成である	64人	25.5%
どちらかといえば反対である	21人	8.4%
反対である	33人	13.1%
わからない	25人	10.0%
合計	251人	100.0%



問14 7月1日「びわ湖の日」が県内において休日となった場合、どのようなことをして過ごしますか。(n=251)

項目	人数	割合
これまで以上に、琵琶湖と関わる活動をする	90人	35.9%
今までも琵琶湖と関わる活動をしてきたので、これまでどおり過ごす	35人	13.9%
勤め先や学校が県外にあるなどの理由により、休日とはならない	40人	15.9%
琵琶湖と関わる活動以外のことをして休日を過ごす	53人	21.1%
その他	33人	13.1%
合計	251人	100.0%



問15 「びわ湖の日」に関して、今後、県、事業者、民間団体等に対して期待することなどがありましたらお聞かせください。(抜粋)

・参加型のイベントも良いけれど、より発信的なイベントを催す。教育機関と連携するのも良いと思う。学校では子どもたちが一人一台端末を持っているので、動画やポスターでのPR作り等を企画しても面白い。特に子どもたちが、びわ湖を「じぶんごと」にできる取組を増やしていけたら良いと思う。

・私は柳ヶ崎の環境研究所のすぐ近くに住んでおり、とても立派な建物で最近はたくさんの方が働いておられるが、どのような研究・活動・働きをされているのか全く知らない。先日たまたま「環境研究所」を検索してみると、毎日調査観察記録している内容があることを初めて知った。もっと施設を開放し、あの施設で働いている専門的知識を持った方たちが、子どもたちや県・地域の住民にわかりやすく琵琶湖の価値や課題を伝える取組をしてもらえたら、それは「びわ湖の日」にふさわしい活動になると思う。

・小学校に勤務していたときに、「7月1日はびわ湖の日給食」となっていた。給食を食べる子どもがいる家庭の方々はそれをきっかけに知る機会があると思うが、現在の自分も含め、そうでない家庭の方々は「今日はびわ湖の日」という意識をもつことはなかなか難しいのではないかなと思う。7月1日は滋賀県内のスーパーで「びわ湖の日」をPRして、びわ湖に由来のある食品を積極的に取り扱ったり、レシピを紹介したりするなどしてみるのも良いかなと思った。また、今回のアンケートに「びわ湖の日は県内は休日にする」という案があったが、良い案だと思った。「今日はびわ湖の日」という意識が強く持てるし、博物館や美術館、商業施設などでも、琵琶湖にまつわる展示や取組をしたら人も集まりやすいと思うので、ぜひ実現してもらいたいと思う。

・びわ湖の日の清掃は、今は暑過ぎて危険である。一斉清掃は良いと考えるが、日を改めるべき。

・県だけの休日を作ることは良いと思うが、その日に琵琶湖に関することをするとは思えない。山の日や海の日に山に行ったり海に行ったりすることはないので。

・7/1がびわ湖の日であることをもっと周知させるため、様々な年代をターゲットにした色々なイベント等を開催し恒例化することにより、自然と琵琶湖がもっと身近に感じられるようになり「琵琶湖のこれから」=「自分の生活の一部」と認識する県民が増えると思う。

・琵琶湖の清掃や外来魚釣りなど、こどもと一緒に楽しめる活動があれば嬉しい。琵琶湖博物館など文化施設に、県民が無料で入館できる日になれば家族で出かける機会が増えるかと。

・琵琶湖の赤潮が発生した過去について、テレビやマスコミで取り上げられるようにして欲しい。

・びわ湖の日を関西圏の、他の他府県にも知ってもらえるような活動を行ってほしいと思う(びわ湖の日のPRイベントを県内だけでなく、大阪や京都でも行うなど)また、他にも湖のある県と友好協定を結んでお互いが湖の保全・PRに向けて活動できるような体制があると良いのではないかなと思う。

・県民だけでなく、県外から訪れる人たちにも、びわ湖の日をアピールして、琵琶湖の自然の保全活動への協力を依頼する様な取組を、県などに期待している。

・滋賀県民に対してもっと周知徹底できるように強力に情報発信をしてほしい。また、県内の企業や自治会に積極的に参加・協力してもらい、「びわ湖の日」は商業施設や各自治会でびわ湖について考える活動ができるように調整してほしい。

・関東圏出身のため、「県民の日」という県ごとに祝日があるのが当たり前だと思っていたが、関西に来てそれが普通ではないと知った。まずはびわ湖の日という県民特権としての祝日が制定され、琵琶湖に限定せず県民が休日を堪能できる日になり愛称が浸透し、その日やその前後に琵琶湖に触れ合う機会があるといいと思った。

・7月1日に限らず、子供達の夏休み中で企業の休みの日曜日を利用して行政、事業所、自治会等多くの人達を巻き込んだ県下一斉イベントを大規模に開催できたら良いと思う。

・ボランティア活動ばかりではなくて、楽しいイベントやレクリエーションなどを実施して、滋賀県民が参加したくなり、楽しめる日になればいいと思う。

・びわ湖の日を休日にするなら県の施設を無料開放する、その日限定のちょっとした記念品を配布するなど琵琶湖と滋賀をもっと知ってもらう機会をつくればいいと思う。

・「びわ湖の日」には、頑張る滋賀県民に助成金を給付してほしい。びわ湖へ誘致するために子持ちにはオトクなキャンペーンを設けるなどしてほしい。